



No.214

令和2年9月定例会

にいざ市議会だより



整備工事が完了した志木駅南口駅前広場

目次

- P2 令和元年度決算を認定
 地方の声を国へ
 関係機関に意見書を送付しました
- P3 新座市にこんな意見をしました
 次年度の予算編成に向けて決算に意見を提出
 新座市のこんなことが決まりました
 第2回臨時会議案審議
- P4 新座市のこんなことが決まりました
 9月定例会議案審議
 人事紹介／陳情
- P5～11 新座市のこんなことを聞きました
 一般質問ダイジェスト
- P10～11 全員協議会から
 財政非常事態宣言について など
- P12 議案等の審議結果
 市議会における新型コロナウイルス感染症の
 対応について

Pick up

新座市自動車駐車場条例を可決

令和2年9月1日からの志木駅南口自動車駐車場の供用開始に伴い、新座市自動車駐車場の駐車料金その他駐車場の管理に関し必要な事項を定めるため、新座市自動車駐車場条例を可決しました。また、供用開始に先立ち、8月31日には志木駅南口駅前広場完成式典が開催されました。



■ 8月31日に行われた志木駅南口駅前広場完成式典の様子

議会日誌

7月
 31日 議会運営委員会
 第2回臨時会
 全員協議会

8月
 17日 入間市行政視察来訪
 24日 議会運営委員会
 27日 第3回定例会開会
 全員協議会
 議会運営委員会

9月
 23日 議会運営委員会
 25日 第3回定例会閉会
 29日 全員協議会
 30日 志木地区衛生組合議会定例
 朝霞地区一部事務組合議会
 定例会

10月
 14日 議会運営委員会
 19日 建設常任委員会
 29日 総務常任委員会

11月
 5日 議会運営委員会
 24日 議会運営委員会
 27日 第4回定例会開会

次回 **12月定例会** 開会日 **11月27日(金)**
 お知らせ
 会期日程はHPに掲載
 しています。

新座市議会 検索



にいざ市議会だよりをスマートフォンへ配信します。

クローズアップ

令和2年9月定例会

令和元年度決算を認定

一般会計

質疑では、「代表監査委員は本市の財政状況についてどう考えているか。財政健全化や行財政改革に向けて助言や提言があればお聞かせ願いたい」「大和田二・三丁目」の工事が終われば、年間で5億円の税収増が見込めると過去に説明があった。令和元年度の税収はどのくらいだったのか」「市税の収入率が前年度より増加したが、どのような努力が功を奏したと考えているか」「13か所あった地域子育て支援拠点が4か所減って9か所となった。今後どうしていく考えか」「市立保育園運営管理費で、報酬・賃金に大きな不用額が

出ているが、こういった職種の人材が不足したのか。不足による支障はあったのか」「生活保護費について、ここ3年間は受給世帯数が減っているのに増加している。こういった状況なのか」「障がい者の雇用について、国は障害者活躍推進計画の作成を義務付けているが、本市の策定状況は」「いバスの無料乗車証は年度で何枚発行されたのか」「障がい福祉計画の策定に係るアンケート調査の回収率が低いことについてどう考えているか。アンケート以外の方法は検討しなかったのか」「地方公共団体情報システム機構と市の関係は。毎年どれくらいのお金が市からこの団体に流れていくのか」

「幼児教育・保育の無償化は、本市の財政にどういう影響を与えたのか」などがあり、4常任委員会に分割付託して審査した。本会議では、「財政が大変だと行って福祉10事業が削減された。福祉のための安定財源だと言って消費税が増税された年でもあり、道义的にも削減すべきではなかった」「土地区画整理事業への繰出金が合計で3億5千万円近くある。こういうお金があったら待機児童の解消にもっと注ぐべきではなかったか」などの反対討論、「令和元年10月の台風19号の教訓から、自主防災組織の活動支援、備蓄品や防災資機材の充実・整備、総合防災訓練の開催などに努められた」「児童発達支援センター（アシタエール）の開所、大和田放課後児童保育室の工事完了、第二老人福祉センターの開所など、

令和元年度会計別決算額

会計名	歳入	歳出	差引額	
一般会計	550億3,729万4,238円	536億2,487万4,700円	14億1,241万9,538円	
特別会計	国民健康保険事業	153億6,554万7,858円	150億9,250万9,936円	2億7,303万7,922円
	下水道事業	32億5,254万4,902円	30億2,626万2,342円	2億2,628万2,560円
	介護保険事業	104億338万4,171円	102億4,602万3,901円	1億5,736万270円
	後期高齢者医療事業	18億8,863万9,741円	18億5,536万9,692円	3,327万49円
	新座駅北口土地区画整理事業	9億2,481万5,938円	8億6,665万7,442円	5,815万8,496円
	大和田二・三丁目地区土地区画整理事業	32億1,522万6,256円	29億9,092万7,031円	2億2,429万9,225円
水道事業会計(税抜き)	収益的収支	24億7,821万2,822円	23億6,403万6,325円	1億1,417万6,497円
	資本的収支	4億5,507万9,800円	10億3,925万4,524円	▲5億8,417万4,724円

※資本的収入及び支出において不足する額については、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

令和元年度主要な施策の成果の一部

事業名	支出額	実施内容
プレミアム付商品券事業の実施	2億5,192万9千円	消費税・地方消費税率の引上げによる、消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、低所得者・子育て世帯主を対象としたプレミアム付商品券を販売した。
(仮称)児童発達支援センターの建設	3億9,728万6千円	みどり学園及びわかば学園の老朽化に伴い、老人福祉センター隣地に両施設を統合し、障がい児支援の提供体制を整備するため、(仮称)新座市児童発達支援センターを建設した。
大和田放課後児童保育室の整備	1億7,659万8千円	大和田放課後児童保育室の大規模化、狭あい化の解消を図るため、大和田小学校近隣地に放課後児童保育室を建設した。
第二老人福祉センターの建て替え	3億7,180万5千円	老朽化、利用者の増加に伴う狭あい化等の課題の解決を図るため、第二老人福祉センターを大和田四丁目地内に移転した。
志木駅南口周辺の整備	6億5,785万5千円	地下自転車駐車場部分において、駐輪ラックやベルトコンベア等の設備工事並びに内壁のパネル設置や塗装等の内装工事を行い、令和2年4月1日から地下自転車駐車場の供用を開始した。
大和田二・三丁目地区土地区画整理事業の推進	26億9,015万1千円	市北西部に位置する本事業地区内における道路築造等整備と地権者に引き渡すための造成工事を主とした事業を施行した。

「国民健康保険事業 質疑では、「この3年間は毎年黒字となっており、年度末で11億円が基金に積み込まれているが、こんなに基金が必要なのか。保険料が統一化されたら、この基金の扱いはどうなるのか」などがあり、厚生常任委員会で審査した。本会議では、「以前は大きな赤字が出れば市民に還元するということで国民健康保険税を引き下げた。子どもの均等割の廃止などは十分に可能で、やらなければいけないのではないかと」「国民健康保険税を払うのは非常に厳しい人たちが多く、積み立てるのではなく、市民のために市もお金を出すべき」などの反対討論、「レセプト審査、差額通知の実施による後発医薬品への切替え、特定健診の受診率増加、生活習慣病重症化予防事業等への取組により、保険者努力支援制度交付金の獲得に努められたことを高く評価する」などの賛成討論の後、委員長報告のとおり賛成多数で認定した。



■大和田四丁目地内に建て替えられた第二老人福祉センター

多くの福祉施設の運営が開始され、ハード面で福祉の充実が図られた年度として高く評価する」などの賛成討論の後、4常任委員会委員長報告のとおり賛成多数で認定した。

- 介護保険事業** 厚生常任委員会で審査し、本会議では、委員長報告のとおり全会一致で認定した。
- 後期高齢者医療事業** 厚生常任委員会で審査し、本会議では、委員長報告のとおり賛成多数で認定した。
- 下水道事業** 建設常任委員会で審査し、本会議では、委員長報告のとおり全会一致で認定した。
- 新座駅北口土地区画整理事業** 建設常任委員会で審査し、本会議では、委員長報告のとおり賛成多数で認定した。
- 大和田二・三丁目地区土地区画整理事業** 建設常任委員会で審査し、本会議では「福祉や教育を充実させたこともお金がないという答弁が多い中、これだけ大きな区画整理事業を重ねてやることについて非常に違和感を覚える」「国の補助金が見込みより少なく、今年度は19億円を借金で賄う格好になっている。本市の財政状況が厳しい大きな一つの要因であり、これは地権者がやるべきだった」「財政難で、福祉事業や道路の補修など本間に市民が望んでいることができない。その原因を作っているのは新座駅北口と大和田二・三丁目土地区画整理事業だと思ふ」などの反対討論、「お金もたくさん掛かったが本場にきれいな状況になった。組合施行が理想であったかもしれないが、前市長が旗を振ったからこそ事業が動いた」などの賛成討論の後、委員長報告のとおり賛成多数で認定した。

地方の声を国へ

今定例会に提出された意見書は7件で、そのうち5件が可決されました。可決された意見書は、関係機関に送付しました。

- 送付先** 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣 財務大臣 国土交通大臣 内閣府特命担当大臣(防災) 国土強靱化担当大臣
- 送付先** 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣 財務大臣 国土交通大臣 内閣府特命担当大臣(防災) 国土強靱化担当大臣
- 送付先** 内閣総理大臣 厚生労働大臣
- 送付先** 内閣総理大臣 文部科学大臣
- 送付先** 重度心身障害者医療費助成制度の拡充を求める意見書 埼玉県知事
- 送付先** 子どもたちの学び、心身のケア、安心安全な教育環境を保障するために少人数学級の実施を求める意見書
- 送付先** 内閣総理大臣 文部科学大臣
- 送付先** 重度心身障害者医療費助成制度の拡充を求める意見書 埼玉県知事

クローズアップ

令和2年9月定例会・臨時会

新座市にこんな意見をしました

次年度の予算編成に向けて決算に意見を提出

一般会計

総務常任委員会

- 1 東京2020オリンピック・パラリンピック推進は、新型コロナウイルス感染症防止対策を万全にし、市民の気運の醸成を図るとともに、市の発展につながる取組に努めること。
- 2 シティプロモーションに関しては、シティプロモーション方針に基づき、市の魅力を発信し、ブランドイメージの向上に努め、ターゲットに対する効果検証を行うこと。
- 3 ガバメントクラウドファンディングを効果的に運用すること。
- 4 都市高速鉄道12号線の延伸促進については、課題解決に向けた調査・研究を行い、東京都、埼玉県及び関係市区と連携・協力を図り、市民・関係地権者等に対して適切な情報の提供に努めること。
- 5 男女共同参画については、幹部職員及び審議会における女性登用率の向上に努めること。
- 6 職員の負担軽減と経費節減を図るため、ICTやAI、RPAの活用を積極的に進めること。
- 7 防災のまちづくり施策を進め、引き続き水防対策の強化を図ること。消防団・自主防災会の強化・育成を支援すること。防災備蓄品の充実に努めること。避難所における新型コロナウイルス感染症防止対策の強化を図ること。
- 8 税の徴収については、市民に寄り添った納税相談を行い、実

態の精査を確実に実施して、引き続き収納率向上に努めること。

文教生活常任委員会

- 1 空家等の対策を全庁的な課題として捉え、新座市空家等対策計画を着実に推進すべきである。
- 2 市民の声を広く取り入れ、にバス等の充実と併せて、デマンド型交通の導入に向けて検討すべきである。
- 3 雨水貯留槽の設置を始め、台風や集中豪雨等による被害の軽減を全庁的に推進すべきである。
- 4 地域経済活性化のため、商業や農業への支援策等について調査・研究し、強化すべきである。
- 5 振り込め詐欺等、消費者トラブルの被害防止のための施策を充実すべきである。
- 6 教育費については、一般会計予算の10%以上とするよう努めるべきである。
- 7 子どもたちと向き合う時間を増やすために、教職員の多忙化解消策を強化すべきである。
- 8 教育相談センター、さわやか相談員、子どもと親の相談員、スクールソーシャルワーカー及び学校が連携し、不登校及びいじめの未然防止並びにその解決に向けた対策を強化すべきである。
- 9 障がいのある児童・生徒に寄り添った就学支援体制の構築を検討すべきである。
- 10 計画的に小・中学校の大規模改修を着実に進め、各学校の要望に応え、施設維持補修工事費を増額すべきである。

厚生常任委員会

- 1 地域支え合いボランティア事業を積極的にPRし、利用拡大を図るべきである。
- 2 障がい者(児)やその家族が地域で安心して生活できるように、児童発達支援センターにおいても相談支援体制の充実を図るべきである。
- 3 障がい者の就労支援や社会参加を推進すべきである。
- 4 虐待防止や育児不安の解消に向け、情報交流、相談機能の充実を図り、子育て支援体制を引き続き拡充すべきである。
- 5 待機児童の解消に向けた取組として、保育士確保のために、保育士の処遇改善を進めるべきである。
- 6 市北部地域における児童センターの新設を検討すべきである。
- 7 こども医療費助成への補助拡充に向け、引き続き県への要請を強化すべきである。
- 8 こども未来部と教育委員会の連携を密にして、放課後児童保育室の大規模化・施設の狭小の解決を図るとともに、支援員の処遇改善を進めるべきである。
- 9 生活困窮者自立支援に関して、自立支援対策を強化するとともに、子どもの学習支援について充実を図るべきである。
- 10 がん検診の受診率を高めるため、検診の無料化についてPRし、早期発見、早期治療、疾病予防に更に努めるべきである。
- 11 24時間誰もが使用できるよつ、AEDの公共施設への外付けを更に推進すべきである。

特別会計

- 1 特定健康診査を更に拡充し、受診率を高め、市民の疾病予防及び健康維持に努めるべきである。
- 2 後発医薬品利用差額通知、生活習慣病重症化予防対策事業及びレセプト審査等の事業は、引き続き強化すべきである。

建設常任委員会

- 1 「道路改良10か年基本計画パ一トⅢ」で未実施の部分について、
- 2 道路維持補修費の予算の維持及び確実な執行に努めるべきである。
- 3 耐震診断・耐震改修については、「改定新座市建築物耐震改修促進計画」の目標達成のため、制度の周知を図り、執行に努めるべきである。
- 4 多くの市民が憩える魅力ある大型の公園を整備するとともに、ボール遊びができる公園を整備し、全ての公園を巡回し維持管理に努めるべきである。

特別会計

厚生常任委員会

- 1 特定健康診査を更に拡充し、受診率を高め、市民の疾病予防及び健康維持に努めるべきである。
- 2 後発医薬品利用差額通知、生活習慣病重症化予防対策事業及びレセプト審査等の事業は、引き続き強化すべきである。

国民健康保険事業

- 1 認知症予防等の介護予防事業は、市民の要望を取り入れ、施策を実施すべきである。また、「にいざ元氣アップ広場」等の拡大と推進員の養成に力を注ぐべきである。
- 2 高齢者相談センターの体制を強化し、地域包括ケアシステムの構築に向けて努力を続けるべきである。
- 3 介護従事者への研修の充実や処遇改善を進めるべきである。

介護保険事業

- 1 認知症予防等の介護予防事業は、市民の要望を取り入れ、施策を実施すべきである。また、「にいざ元氣アップ広場」等の拡大と推進員の養成に力を注ぐべきである。
- 2 高齢者相談センターの体制を強化し、地域包括ケアシステムの構築に向けて努力を続けるべきである。
- 3 介護従事者への研修の充実や処遇改善を進めるべきである。

後期高齢者医療事業

- 1 「道路改良10か年基本計画パ一トⅢ」で未実施の部分について、
- 2 道路維持補修費の予算の維持及び確実な執行に努めるべきである。
- 3 耐震診断・耐震改修については、「改定新座市建築物耐震改修促進計画」の目標達成のため、制度の周知を図り、執行に努めるべきである。
- 4 多くの市民が憩える魅力ある大型の公園を整備するとともに、ボール遊びができる公園を整備し、全ての公園を巡回し維持管理に努めるべきである。

建設常任委員会

- 1 「道路改良10か年基本計画パ一トⅢ」で未実施の部分について、
- 2 道路維持補修費の予算の維持及び確実な執行に努めるべきである。
- 3 耐震診断・耐震改修については、「改定新座市建築物耐震改修促進計画」の目標達成のため、制度の周知を図り、執行に努めるべきである。
- 4 多くの市民が憩える魅力ある大型の公園を整備するとともに、ボール遊びができる公園を整備し、全ての公園を巡回し維持管理に努めるべきである。

水道事業会計

- 1 水道管の耐震化及び老朽化対策の工事は、早期に推進すべきである。
- 2 水道技術の確実な継承に、引き続き取り組むべきである。

新座市のこんなことが決まりました

令和2年第2回臨時会(7/31)議案審議

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等に必要経費など

令和2年度新座市一般会計補正予算(第7号)を可決

既存の歳入歳出予算に3億9千888万4千円を追加し、総額を76億6千87万4千円とするものである。

本補正予算は、新座市独自の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として実施するキャッシュレス決済導入支援金の支給等に必要経費のほか、感染拡大防止対策等に必要経費を措置するものである。財源については、交付決定のあった新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を計上するものである。

本会議では、「スクール・サポート・スタッフ」を配置する目的、職務内容、配置する学校、採用される方の条件、人数等の詳細は「住居確保給付金の現時点での申請件数と今後の増加見込みは。周知の方法についてはどう考えてい

健全な財政計画の下、事業計画に基づき執行を図るべきである。

水道事業会計

建設常任委員会

- 1 水道管の耐震化及び老朽化対策の工事は、早期に推進すべきである。
- 2 水道技術の確実な継承に、引き続き取り組むべきである。

るか」「市の職員は自分の命も市民の命も守らなければいけない。庁舎におけるソーシャルディスタンス確保についてどう考えているか」「総事業費は4億円となっているが、市民に直接還元されるものはあまりない。何を基準にして政策選択をしているのか」「タブレットの購入は一般財源からの支出と記載されているが、財源の実態としては国の臨時交付金ということでしょうか」「教育用コンピュータ整備については、緊急に1人1台は必要なのではないか」などの質疑があり、「新型コロナウイルス対策として予算をパソコンに使うのは悪いことではないが、もつと他に使えることがあるのではないか」などの反対討論、「児童・生徒が同じ環境で教育を受けられるよう、1人1台に向けた公立学校への情報機器の整備を評価する」「感染症防止対策の予算などを評価するが、市民の暮らしを守る経済対策の予算が不十分である。充実を期待したい」などの賛成討論の後、賛成多数で可決した。

新座市のこんなことが決まりました

9月定例会 議案審議

新型コロナウイルス感染症対策事業に係る経費など

令和2年度新座市一般会計補正予算(第8号)を可決

既定の歳入歳出予算に、5億2千421万円を追加し、総額を71億8千508万4千円とするものである。歳入の主なものとしては、普通交付税の交付決定額が当初予算を上回ったことから、地方交付税1億7千112万9千円の増額等について予算措置をするものである。

歳出の主なものとしては、新型コロナウイルス感染症対策事業に係る経費を始め、富士塚自転車駐車場等の解体工事や第二保育園の給食調理委託に必要な経費等を措置するほか、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる事業等に係る経費を減額するものである。

また、引き続き厳しい財政運営が見込まれる中で、できる限り財政調整基金へ積み立てる必要があることから、本補正予算の収支差金9億1千56万3千円については財政調整基金に積み立てるものである。積立後の財政調整基金の残高は9億5千762万8千円となる。債務負担行為については、例規データベース構築運用事業、保育業務システム構築運用事業及び複合施設実施設計業務委託事業について設定するものである。

クローズアップ

令和2年9月定例会

坂之下橋整備の国庫支出金が減額された理由は「見送りとなった道場一丁目集会所建て替え事業の再開予定は」新型コロナウイルス



解体工事が予定されている富士塚自転車駐車場



公園に設置されている健康器具 (写真は野火止公園)

た地域の詳細は「などがあり、4常任委員会に分割付託して審査した。

本会議では、「恵山通りなど、9路線で道路維持補修工事が延期されたのはとても納得がいかない。市民の願いに耳を傾けて実現していくのが市の仕事だと思つ」

「1千660万円の一般財源をカットするために1億2千300万円の工事をやめてしまつて、市内の土木業者は営業を続けていけるか心配している。予算は残したまま様子を見て、それから決断するのが当たり前ではないか」などの反対討論、「病後児保育事業の実施や遠隔授業の環境整備のためのウェブカメラの設置、国庫支出金を活用した新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の補助金など評価するが、道場一丁目集会所の建て替えや道路事業が先送りされたことは大変残念だ」「現時点で新型コロナウイルスが本市の財政に与える影響を見通すことは難しく、今年度の事業についても見直しをしたことは適切な判断であると思つ。先送りされた事業の関係者の皆様には丁寧な説明をお願いしたい」などの賛成討論の後、賛成多数で可決した。

前年度繰越金を国民健康保険財政調整基金へ積立て

令和2年度新座市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)を可決

既定の歳入歳出予算に、2億7千303万6千円を追加し、総額を14億1千823万8千円とするものである。

歳入については、前年度繰越金で確定したことから、繰越金2億7千303万6千円を増額するものである。

歳出については、同額を国民健康保険財政調整基金へ積み立てるもので、積立後の同基金の残高は14億2千437万5千円となる。

質疑では、「今回の補正で基金の残高は14億円にもなる。増えている要因をどう考えているか」などがあり、厚生常任委員会に付託して審査した。

前年度繰越金等の基金への積立てなど

令和2年度新座市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)を可決

既定の歳入歳出予算に、1億8千866万9千円を追加し、総額を11億183万7千円とするものである。

歳入については、令和元年度の介護給付費の精算に係る追加交付金として、支払基金交付金2千981万6千円、一般会計繰入金149万4千円及び前年度繰越金1億5千735万9千円をそれぞれ増額するものである。

歳出については、地域支援事業費について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止する事業分について197万8千円を減額する

とともに、前年度繰越金等を積み立てる基金積立金9千689万4千円、令和元年度に交付された国庫等支出金が実績を上回ったことによる償還金5千878万9千円及び一般会計繰入金3千496万4千円をそれぞれ増額するものである。

質疑では、「積立金の残高5億4千934万9千円をどう考えているのか」などがあり、厚生常任委員会に付託して審査した。

本会議では、全会一致で可決した。

保育所等訪問支援事業の実施

新座市児童発達支援センター条例の一部を改正する条例を可決

保育所等訪問支援事業を行うため、提案するものである。

質疑では、「支援を利用するための決定を受けるに当たり、何か指標はあるか」などがあり、厚生常任委員会に付託して審査した。

本会議では、全会一致で可決した。

基準等の一部改正に伴う所要の規定を整備

新座市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例を可決

指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等の一部改正に伴い、所要の規定の整備を図るため、提案するものである。

質疑では、「主任ケアマネジャー確保のための処遇改善に向けた取組はあるか」などがあり、厚生常任委員会に付託して審査した。

本会議では、全会一致で可決した。

新座市自動車駐車場の駐車料金その他駐車場の管理に關し必要な事項を定める

新座市自動車駐車場条例を可決

新座市自動車駐車場の駐車料金その他駐車場の管理に關し必要な事項を定めるため、提案するものである。

本会議では、全会一致で可決した。

人事紹介

9月定例会で、次の方の任命に同意しました。

教育委員会委員

脇田 美保子氏

陳情

今定例会で審査した陳情

陳情第2号

資産課税の軽減等に関する陳情書

付託先 総務常任委員会
審査結果等 継続審査

陳情第3号

農業関連補助金に関する陳情書

付託先 文教生活常任委員会
審査結果等 趣旨採択

陳情第4号

生産緑地の追加指定等に関する陳情書

付託先 建設常任委員会
審査結果等 継続審査

市政に問う! 一般質問

新座市のこんなことを聞きました



政和会 池田 貞雄

生産緑地の追加指定基準を緩和し単独農地の追加指定を要望が多数あれば改定・見直しを検討したい

平成4年の生産緑地法の改正に伴い、本市では118・17ヘクタールが生産緑地地区に指定されたが、令和2年度末における指定面積を伺う。また、令和4年から特定生産緑地地区への移行に伴い、生産緑地地区の追加指定の基準を緩和し、単独農地の追加指定ができないか、市の見解を伺う。

令和2年度末における生産緑地地区の指定面積は102・72ヘクタールとなっている。また、追加指定については、平成4年に指



政和会 嶋野 加代

新型コロナウイルスの感染情報を更詳しく公開しては

今後の感染者情報を分かりやすく正確に公表していく

現状を客観的に理解し、正しい感染予防につなげるため、累計陽性者数だけでなく、回復者数や重症者数等、更に詳しい情報を公開できないか。重症者用ベッド数や軽症者用宿泊施設の空き情報も併せて提供できないか。

感染者情報のほか、退院者数や入院者数等の内訳をホームページに掲載している。入院用ベッドや宿泊施設の空き情報については、県で一元的に管理し公表しており、県のホームページを案

定した地区が、30年後である令和4年12月に申請基準日を迎えるため、現在当該生産緑地地区を特定生産緑地地区に指定していく事務を進めている。この指定事務を遂行する中で、農家の皆様から単独農地の追加指定の要望が多数あれば、近隣市の状況を調査し、指定事務の完了後に運用方針の改定・見直しを検討していきたい。

防災行政無線で市民に向けて市政情報の放送を

周知の必要性や内容を精査した上で活用を検討したい

新型コロナウイルスの影響により、会議やイベント等が中止され、市の情報が市民に伝わりづらくなっている。防災行政無線を使って、市民に有益な情報を放送することにより、市民サービスを一層向上させることになると思うが、

内している。今後の感染者情報を分かりやすく正確に公表していく。

避難所の混雑状況もホームページに掲載しては

他市町村の対応状況を見ながら調査・研究していきたい

災害時において、避難所の開設情報だけでなく、避難所の混雑状況についてもホームページに掲載できないか。

避難所の空き情報のホームページ掲載については、他市町村の対応状況を見ながら調査・研究していきたい。

3密を避けるために避難所の増設と集会所の活用を

地域で自主的に避難所運営をした先進事例を周知していく



自主的に避難所運営を行った栄集会所

市の考えを伺う。

防災行政無線は、主に市民の生命・健康に影響のある情報や、犯罪等の緊急性の高い情報を放送している。また、新型コロナウイルスに係る特別定額給付金の情報を含めた市長メッセージも発信した。今後も、市民への周知の必要性や内容を精査した上で、防災行政無線による放送を検討していきたい。



防災行政無線では緊急性の高い情報や生命・健康に影響のある情報を放送している

た集会所を、自主防災会の協力により小規模避難所として運営することで、避難所を増設できないか。

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、大雨時の避難場所を今年度から増設した。集会所については、昨年の台風の際に、事前に連絡を頂いた上で、地域で自主的に避難場所を設定し運営した事例があるので、周知していきたい。



公明党 鈴木 秀一

幼児教育類似施設に通う児童に対する支援を

市が単独で無償化と同様の補助を行うことは難しい

国の地域子ども・子育て支援事業の予算を活用して、幼児教育類似施設に通う児童を支援できないか。また、無認可施設に市として補助を行う考えはないか。

この予算は事業を実施する各施設を支援するものであり、利用者の支援には充てられないが、市単独の補助である幼稚園就園費補助金の交付は継続する。無認可施設への補助は、財政的負担や安全な保育の提供などの課題があり実施は難しい。



公明党 野中 弥生

高齢者や中学生の自転車運転者に対して交通安全の講習を

交通安全教室の実施等で更なる交通ルールの周知に努める

自転車での事故が多い高齢者及び部活動等で自転車での移動が増える中学生に対して、交通安全講習を行うはどうか。また、内閣府ホームページ掲載の「自転車交通安全講座」や「交通安全クイズ」等を印刷して小・中学生に配布し、交通安全の意識を高めることが必要ではないか。

提案いただいた内閣府の冊子を用いて交通安全教室を実施するなど、更なる自転車の交通ルールの周知等に努めていく。

石神第一児童遊園にボールが飛び出さない処置を

注意喚起の横断幕を設置する

この公園はボール遊びができるため市民に喜ばれているが、近隣住民からはボールの飛び出しに対する苦情も出ている。フェンスを高くしたり、天井をネットで覆うなどの処置はできないか。

支柱の交換が必要となる可能性があり、かなりの工費が掛かるため難しい。ボールがネットを越えないよう注意喚起する横断幕を10月までには設置したい。



新座中央通りに設置されている反射式電柱幕

という市民の声があった。感謝メッセージ型反射式電柱幕や、遠くからでも目に付くカラー横断歩道の設置を提案する。

反射式電柱幕を新座中央通りの6か所に設置したので、効果を検証していく。カラー横断歩道の設置は財政状況を考えると難しいが、危険な場所については今後調査・検討していきたい。

携帯電話に対応した緊急通報システムの導入を

高齢者にも携帯電話が普及しているので調査・研究する

固定電話を持たない高齢者が増えている。今後、携帯電話に対応した緊急通報システムの導入が必要ではないか。

現在のシステムは、携帯電話では回線が不安定で緊急時の動作保証ができないので固定電話のみの対応となっているが、昨今高齢者にも携帯電話が普及しているため、今後、調査・研究する。

改正児童虐待防止法の周知徹底を

市のホームページや広報等を用いて周知を図る

児童虐待防止法の改正で親権者による体罰の禁止が明確にされた。厚生労働省作成のリーフ



「愛の鞭せり作戦」リーフレット(厚生労働省「健やか親子21」ホームページから)

「愛の鞭せり作戦」等を子育て家庭等に配布し、体罰が子どもの成長を阻害するものだという認識を広げるべきではないか。

市政に問う! 一般質問

ダイジェスト



公明党 伊藤智砂子

Q エンディングノートを活用した終活の支援を 出前講座や講演会等を開催し 広く普及・啓発したい

A 人生100年時代の備えとして、終活を前向きに取り組むことは大切なことだと考える。市独自のエンディングノートの作成について、進捗状況はどうか。また、エンディングノートの活用方法や終活の取組について支援してはどうか、市の考えを伺う。

A 市独自のエンディングノートは今年度末に完成する。終活の取組支援については、出前講座や講演会等を開催し、広く普及・啓発していきたい。



政和会 鈴木 明子

Q 東北出張所は利用率の高い施設との複合化も含め、ほっとぐららの賃貸借期間終了後の出張所機能の在り方は

A ほっとぐららは今年度末で閉館し、返却することとした。出張所は年度内に東北コミュニティセンター内へ移転し、運営していく。新たな複合施設は財政状況の好転を前提に建設する計画で、出張所については、より広いスペースの確保と機能の拡充も検討

Q 市民会館前のバス市役所バス停に屋根を設置しては 公共交通システムの見直しの方向性を見てから検討したい

A 市民会館前のバス市役所バス停は、市民会館前を移動している。市民会館前のバス市役所バス停は、市民会館前を移動している。市民会館前のバス市役所バス停は、市民会館前を移動している。

Q 屈折検査も可能な機器を活用した視力検査を 厳しい財政状況から直ちに導入することは難しい

A 生後6か月の乳幼児から利用できる、屈折異常弱視を迅速に検査できる機器が開発され、自治体でも導入されている。弱視の早期発見のため、同様の検査機器を活用した視力検査を行うべきと考えるが、市の見解を伺う。

A 検査機器を活用することにより、弱視の発見率が向上するとは考えている。しかしながら、厳しい財政状況から直ちに導入することは難しい。令和3年度予算編成で検討していく。

Q 無償戸別ごみ回収事業の実施を 担当部署と連携を図り検討したい

A 無償戸別ごみ回収事業の実施を 担当部署と連携を図り検討したい



Q 志木市では、ごみ出しが困難と認められる一定の条件を満たした世帯に対して、無償戸別ごみ回収事業を行っている。本市でも福祉政策として実施すべきと考えるが、市の見解を伺う。

A 現在の財政状況では早急に実施することは難しいと考えるが、引き続き担当部署と連携を図り検討していきたい。



■暫定的に市民会館の前に移動されているにいバスの新座市役所バス停

暑い中炎天下でバスを待たなければならず、また、雨の心配もある。当面この場所で運行するのであれば、屋根を設置してはどうか。

A 当該バス停は暫定的に移動したもので、公共交通システムの見直しによっては、更に移動する可能性がある。屋根の設置は多額の費用が掛かるので、見直しの方向性が決まってから検討したい。



公明党 谷地田庸子

Q 市民からエコバッグのデザインを募集して利用推進を 募集方法等について早速検討したい

A 本年7月からレジ袋が有料化された。エコバッグの利用推進のため、市民からデザインを募集したり、ゾウキリンを活用するなどして、市独自のエコバッグを作成してはどうか。

A 本来の目的であるプラスチックごみの削減に関心を持っていただくためにも有効と考える。デザインの募集方法等について早速検討したい。ゾウキリンのエコバッグは来年度の作成に向けて準備する。



政和会 助川 昇

Q コロナ禍における市内イベントの再開は 厳しい財政見通しを踏まえ協力団体とも調整して判断する

A コロナ禍において中止となった市内イベントについては、どのような情勢になったときに再開するのか、市の考えを伺う。

A 市内イベントについては、国等が策定したイベント内容に沿ったガイドラインに基づき実施していくことになるが、本市におけるイベントの再開については、厳しい財政見通しを踏まえた上で、各協力団体の皆様とも調整させていただきながら判断していく。

Q 「おくやみハンドブック」の作成を 先進事例を参考にリーフレットの見直しを図っていく

A 遺族は悲しみの中でも死亡や相続に関する手続を進めなければならぬ。必要な手続を分かりやすく伝える「おくやみハンドブック」を作成し、死亡届の提出時にお渡ししてはどうか。

A 死亡届の提出時にお渡ししているリーフレットについて、先進事例を参考にしながら、市役所以外で行う手続の案内も盛り込むなど見直しを図っていききたい。

Q 避難所に災害対策用テントの拡充を 段ボールパーティションを活用した運営を図っていききたい



■段ボールパーティションの設置イメージ

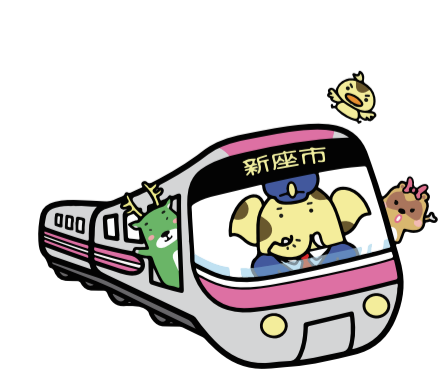
A テントは大変高価で保管場所の問題もある。現状では各避難所に確保している要配慮者を収容するための福祉避難スペースや、段ボールパーティションを活用した運営を図っていききたい。

Q 都市計画道路保谷朝霞線の開発計画案を県に具申しては 機会を捉えて提案したい

A 第2期事業認可取得後に、よリスピーディーに保谷朝霞線の工事を完了させるために、第1期区間である南側から同時に第2期区間である北側からも工事を進める開発計画案を県に具申してはどうか。

A 同時に工事を進めることは円滑な事業推進に効果的であると考えられるので、県には機会を捉えて提案したい。

Q 新座市都市高速鉄道12号線建設促進基金条例の再制定を 今後検討させていただく



A 延伸を支持する方々の熱意が形として表れることや、現在の市の財政状況の軽減というメリットがあると考えられる一方で、基金の使途や運用に当たったの取扱い等の懸案もあるので、今後検討させていただきます。

市政に問う! 一般質問

ダイジェスト



公明党 佐藤 重忠

Q コロナ禍に対応した避難所開設・運営訓練の実施を避難所開設ガイド動画を利用して周知していきたい

A 近隣3市では、コロナ禍に対応した避難所開設・運営の訓練を実施しているが、本市では実施されていない。職員及び町内会役員等の避難所におけるキーマンを対象として、コロナ禍における災害を想定した訓練を実施すべきと考えるが、市の見解を伺う。

Q コロナ禍により、訓練の機会を設けることは難しい。現在作成を進めている、避難所開設ガイド動画を町内会にも提供し、周知していきたい。



政和会 小野澤健至

Q 地域応援ぶらすクーポンが届いていない世帯への対応は連絡を頂いた世帯には郵送等により対応している

A 郵便受けに直接配布された地域応援ぶらすクーポンは、不要なチラシと一緒に捨てられている可能性が高い。届かなかった世帯への対応を伺う。

Q 経営状況が悪化している市内事業者への支援として迅速に進める必要があるため、短期間で大量に配布できるポステイング方式を採用することとし、ホームページや広報で周知を図った。届いていないとの連絡を頂いた世帯には、郵送等により対応している。

Q 新型コロナウイルス接触確認アプリ等のPRをホームページ・広報に掲載し庁舎にも案内を掲示している

A 国の新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCA)及び県の埼玉県LINEコロナお知らせシステムは、アプリの利用が増えることで感染拡大の防止が期待される。市民や市内の団体・事業者へPRしてはどうか、市の考えを伺う。

Q 当該アプリ等の情報はホームページ・広報に掲載している。なお、県のアプリについては、市庁舎の出入口や各階の案内板付近にQRコードを掲示している。

Q 徹底的な感染防止対策をしてぜひ成人式の開催を参加者の安全を考慮して開催したい

Q 新型コロナウイルスの影響で成人式の開催を断念する自治体も出ていますが、工夫を凝らして開催を決定する自治体も多い。本市でも、感染防止対策を徹底して開催すべきと考えるが、市の考えを伺う。

A 時間の短縮やホームページで会場の様子を動画配信するなど、感染防止対策を徹底し、参加者の安全を考慮して開催したい。



令和2年成人式の様子

Q NHK放送受信料免除申請書から契約部分を削除しては

A NHK放送受信料免除申請書は受信契約書も兼ねており、自治体で取り扱うことはNHKの業務代行とも見られる。当該申請書から契約部分を削除できないか、市の見解を伺う。

Q 市では、生活保護が決定した際、受信料の免除申請を行うことは同時に受信契約を締結することになると説明しており、受給者自身の判断で申請してもらっている。今後も丁寧な説明に努め、契約部分は削除しない。

Q 新座駅北口バイク駐車場の放置車両に何らかの対処を駐車台数が制限され美観を損なうので早急に対応したい



新座駅北口バイク駐車場に設置された放置車両撤去警告看板

Q 新座駅北口バイク駐車場は、明らかに使われていないバイクや壊れたバイクが長期間放置されており、美観を損なうだけでなく犯罪も招く恐れがある。何らかの対処は検討しているか。

A 放置車両に警告札を貼付するとともに、駐車場内に警告看板を設置し、盗難車両かどうか警察に確認してもらうこととした。

Q 子ども家庭総合支援拠点の設置に向けた取組状況は

A 令和4年度までの設置に向けて進めていきたい

Q 平成28年の児童福祉法改正により、市町村は子ども及び妊産婦の福祉に関し、必要な支援を行うことが明確化された。子ども家庭総合支援拠点の設置に向けた取組状況を伺う。

A 国は令和4年度までに全市町村に設置することを目標に定めている。職員の確保などの課題はあるが、先進自治体の状況を調査・研究しながら本市も設置に向けて進めていきたい。



由臨会 上田美小枝

Q 県の補助金を活用し通学路に防犯カメラの設置促進を

A 子どもに対する不審者の声掛け事案等が発生しており心配である。県の防犯環境整備補助金を活用し、通学路への防犯カメラ設置を促進すべきではないか。

Q 補助金を活用しても多額の負担が必要であり、個人情報保護の観点からも市として設置することは困難である。地域の町内会やPTAの皆様と連携することで犯罪抑止に取り組んでいきたい。

Q 児童虐待防止啓発のため通告窓口等について広報に掲載

A 児童虐待防止啓発のため、通告窓口等について広報に掲載

Q 「こいざはつとぶらわ」の今後は

A 令和2年度末の閉館後は他の施設で代替機能を確保する

Q 新座駅周辺は路上喫煙禁止区域だが、路上喫煙をしている人をよく見かける。路上喫煙をなくするための対策について伺う。



路上喫煙禁止地区に指定されている新座駅周辺



厚生労働省が作成した児童虐待防止リーフレット

し、周知を図ってはどうか。また、啓発用のマグネットシートやバスマスクを作成し、公用車やいばすに装着できないか。

A 児童虐待防止に関する記事を広報11月号に掲載するほか、厚生労働省のリーフレットを配布して周知を図っていく。公用車等の活用は経費を要するため難しい。

市政に問う! 一般質問

ダイジェスト



公明党 白井 忠雄

中止した学校行事に代わる思いつくイベントの実施を

新型コロナウイルスの感染拡大により、小・中学校の修学旅行・林間学校をはじめ多くの行事が中止され、楽しみにしていた児童・生徒への影響はかり知れない。別な形で児童・生徒の思い出づくりを実施できないか、市の考えを伺う。

感染拡大防止のため、早期に行事の中止を判断したが、児童・生徒の思い出づくりの必要性は認識している。新型コロナウイルスの状況を見ながら、代替イベントの実施に向けて各学校を指導したい。



市民と語る会 富永 孝子

配慮を要する有権者へ事前に投票所での対応の案内を

今後はパンフレットを公共施設にも設置し音訳も進めたい

誰もが安心して投票を行えるよう、配慮を要する有権者に対し、投票所での対応を示したパンフレットを事前に配布するなど案内が必要だと思いが、どのように周知を図っているのか。

パンフレットを作成し、ホームページに掲載することも、各事業所と障がい者団体宛てに送付し、施設利用者や団体の皆様への案内をお願いしている。今後は公共施設にも設置し、音訳についても前向きに進めていきたい。

一人暮らしの高齢者に見守りクーポンとマスクの配布を

配布は考えていないが今後も見守り・安否確認に努める

一人暮らしの高齢者に対する見守りと生活支援のため、市独自のクーポンを発行し、地域の協力を得てマスクと一緒に訪問配布してどうか、市の考えを伺う。

政府から布マスクが配布され、本市では地域応援ぶらすクーポンを全世帯に配布しているため、改めてマスクやクーポンの配布は考えていない。一人暮らしの高齢者に対する見守りについては、今後も関係機関と連携を密に図りながら、安否確認に努めていきたい。

防災・減災動画の配信やリモート防災講習会で意識啓発を

動画配信を検討し、リモート講習会の調査・研究を進める

福祉体験学習に対する学校による格差をなくす取組を

各学校で教育計画を立てていくので理解いただきたい

福祉体験学習の講師として朝霞地区の小・中学校を10年ほど回ってきたが、市や学校によって授業の扱いに格差を感じた。子どもたちの学べる内容に差が出ないよう、対応が必要ではないか。

各学校の取組はそれぞれ特質があるが、格差は存在しない。教育課程の編成権は学校長にあり、各学校で教育計画を立てていくので理解いただきたい。

コロナ禍に有効なオンラインを活用した防災動画の配信、リモート形式の防災講習会を行い、市民の意識啓発を図ってはどうか。

運用を開始した市の公式YouTubeチャンネルにおいて、市独自の動画配信を検討していきたい。また、リモート講習会については、環境整備等の課題を考慮しつつ、調査・研究を進めていきたい。



■新座市公式YouTubeチャンネルでは様々な動画を配信している

談支援事業との違い、期待する効果、増設の考えを伺う。

同センターは、専門スタッフによる一般的な相談支援のほか、関係機関からの相談にも総合的な対応が可能となり、障がい者が地域で自立した生活を営むために必要なサービスを提供できる。今回は2か所開設するが、まずはもう1か所の設置を目指したい。

市内初となる基幹相談支援センターに期待する効果は地域での自立した生活に必要なサービスを提供できる



■10月に開設された基幹相談支援センターえん



日本共産党 小野 大輔

クラスター予防のため社会的PCR検査の実施を

県で検査対象を拡大しており本市で実施する考えはない

①東京都世田谷区では新型コロナウイルスを予防するために社会的PCR検査を進めている。本市でも実施を検討すべきではないか。②県のクラスター対策チームCOV-MATとの連携はどうなっているか。

①県でPCR検査の対象者を拡大しているため、本市において実施する考えはない。②施設等で陽性者が発生した場合に、保健所が必要を判断して県に派遣を要請することとなる。

はなみずき通りの志木市までの開通は断念すべき

志木市民体育館の状況を見ながら今後の検討課題としたい

道路改良10か年基本計画パートⅢに記載されているこの道路は、地域を分断し、雨水・汚水対策を後退させるものである。開通を断念する検討結果も出ており、計画から削除すべきではないか。

志木市の了解が得られず計画は進んでいないが、隣接する志木市民体育館の移転等について様子を見たいので、今後の検討課題としたい。

神明神社脇を通る道路の安全対策を

路面標示の再表示など現行の対応を当面は継続したい

神明神社脇を通る道路(市道第1062号線)には2つの



■神明神社脇を通る道路(市道第1062号線)

保育園があり、通学路でもあるが、抜け道となっており猛スピードで自動車通過する。ゾーン30の実現など安全対策を進めてほしい。

ゾーン30は区域を定めて速度制限するもので、一部の道路だけを対象にはできない。時間帯による車両通行止めや薄くなった路面標示の再表示など、現行の対応を当面は継続したい。

日曜日も運行できないか。

財政負担も含め様々な要因により、直ちの抜本的な解決は難しい。市内全体の公共交通システム再編の重要性は認識しており、交通コンサルタント業者との委託契約の中で、にいバスの再編やデマンド型交通等の交通手段を含め様々な視点で検討していく。

市民の足となる「にいバス」の増便を

にいバス再編やデマンド交通を含め様々な視点で検討する



■増便の要望があるにいバス

市政に問う! 一般質問

ダイジェスト



由臨会
島田久仁代

Q 財政見通しが困難な中での第5次総合計画策定の進め方は総合的に考えながら今後の進め方を提案したい

Q 計画策定が1年先送りされ、市の将来都市像の方向性が明らかにならない状況が続くことは好ましくないと考える。そこで、総合計画を基本構想・基本計画・実施計画の3層構造として捉え、基本構想と基本計画を来年度に、財政面の裏付けが必要な実施計画を2年程度延伸し、計画策定してはどうか、市の考えを伺う。



政和会
平野 茂

Q 財政状況について、①来年度の見込み、②公共事業・区画整理事業の見直し、③公共施設の利用時間短縮等の検討内容、④団体への補助金の見直し内容を伺う。

A 財政が危機的な状況であり、非常事態を宣言することとした。①大変厳しい歳入の見込みに見合った歳出の抑制が課題である。②市民の安全確保以外の工事は先送りとする。③利用時間短縮や休館日の増、施設の廃止等も検討する。④一律何割削減という手法で

がら、今後の進め方を改めて提案したい。

Q 今後の行財政運営をどのように進めていくか

Q 来年度予算編成の収支差額を約25億円と見込み、今後の歳入確保も不透明な状況で、どのように事業を見直し、財政健全化に向けた取組や行財政改革を進めていくのか、市の考えを伺う。

A 本市の財政状況が非常事態であることを宣言し、広く周知する。必要最低限の骨格予算という考えの基、上乗せ・横出しの事業については削減を前提に検討し、これから細部を詰めていきたい。見直しの内容は、しっかりと時期を見て、市民の理解が得られるよう広報していく。

はなく、補助金の効果や団体の繰越金の状況も見たい。

Q こども医療費支給制度の不正受給を防止するための対策をアンケートを行っている

Q 同制度に係る不正受給の未然防止策について伺う。

A 保険適用外である肩こり等に接骨院等のマッサージが同制度で適用されているのではないかと指摘は度々受けている。疑義のある請求については確認を徹底するとともに、今後は頻回受診者や長期受診継続者には個別にアンケートを行っていききたい。

Q 地元大学との今後の連携の在り方とは

大学の専門分野を生かし共同研究していく取組を行いたい

Q 道路照明灯の総点検をLED照明灯を除く総点検を検討したい

Q 本年8月、新座中央通りの照明灯が落下した。非常に危険であり、総点検を実施すべきでは

A 同型の照明灯は全て撤去した。設置して間もないLED灯を除く照明灯の総点検を検討したい。



道路照明灯が落下した新座中央通り

Q 地元大学との今後の連携の在り方について伺う。

A もつと踏み込んだ連携として、公共施設を活用して大学のサテライト教室を作り、大学の専門分野を生かして、市民と共同で研究やボランティアを推進する活動センターを創立するなど、各大学と協議しながら連携の在り方を模索していききたい。



市民と語る会
高邑 朋矢

Q 公園でのボール遊びに関するワークショップの進捗状況は近隣住民等に参加の声掛けをしたが同意いただけくない

Q ①前定例会で答弁のあったルール作りについて進捗状況を伺う。②ボール遊び禁止の看板を公園の樹木に掲示するのは、景観上も教育上も良くないのではないかと、町内会や公園の近隣住民の方々に声かけをした。引き続き開催に向けて進めていく。②できるだけ既存の看板を撤去するとともに、公園の出入口付近に順次独立した看板を設置していききたい。



由臨会
鈴木 芳宗

Q 放射7号線(目白通り)開通時の市内交通環境の整備は開通後の状況を見て対応していく

Q 放射7号線の進捗状況と開通時の産業道路、練馬所沢線及び周辺道路の交通環境の整備について、市の方針を伺う。

A 東京都に確認したところ、用地買収が難航しているため開通の時期は未定とのことであり、また、流入交通量も不透明なことから、現時点では産業道路の大型車両規制や交差点改良等の交通環境の整備を行う予定はないが、開通後の状況を見て対応していく。

Q 全ての町内会の決算書に世帯数の記載を義務化すべきでは世帯数の記載を義務化する考えはない

Q 町内会には世帯数に応じて補助金が交付されるが、決算報告書に世帯数を記載しない町内会がある。税金から補助金を出す以上は記載を義務化すべきでは

A 補助金の基準日は決算とは異なっており確認には使用できないため、記載を義務化する考えはない。前年度に比べ増減の大きい町内会には理由を聞くなど正確な世帯数の把握に努めていく。

Q 市内中学校のホームページで校則を公開すべきではそれぞれの学校に判断を任せたい

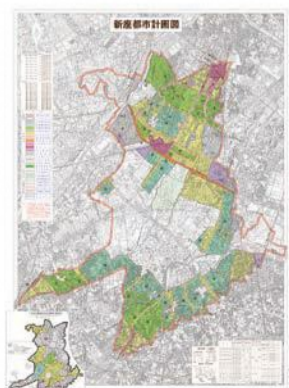
Q 全国でブラック校則が問題になっている。不都合なものではないのなら、各学校のホームページで校則を公開すべきではないか。載せられないような理不尽な校則はなくすべきである。



A 校則には合理性が必要であり、共通理解を図りながら納得できるルール作りを進めるよう各学校に指導している。ホームページに載せるかどうかはそれぞれの学校の判断に任せたい。

Q 市の考え方とその方策を伺う。

A 現在見直し中の都市計画マスタープランでは、市中央部における新駅構想地区周辺等について、新たに土地利用検討地として位置付ける予定としている。また、本プランについては、計画期間の満了に合わせ、第5次新座市総合計画と整合を図りながら策定作業を進めている。



市内の白部分が市街化調整区域(新座都市計画図から)

Q 市街化調整区域解消について市の考え方は

市街地整備の必要に応じて市街化区域への編入を検討する

市政に問う! 一般質問

ダイジェスト



日本共産党 石島 陽子

介護保険サービス利用料助成復活とおむつ代助成の拡充を...

県内7割の自治体において、何らかの介護利用料助成制度が実施されている。

A 新型コロナの影響を受け危機的な財政状況にあり、来年度の予算編成も厳しい状態にある。



日本共産党 笠原 進

来年度は市民の暮らしを守る福祉優先予算とすべきでは...

Q 今はコロナから市民をどう守るかを考える時。...

削減を検討すべきではない。また示された財政の試算表は、法人市民税と市たばこ税や軽自動車税、...

介護職員の人材確保のために市独自の支援策を...

Q ある。根本的には国が処遇改善すべきだが、...

A 介護職員の確保は全国的課題である...

現在策定中の第8期介護保険事業計画で検討していく。

A 新型コロナによる減収分を国が補填するかどうか不明だ。

Q コロナ感染予防のため、バスではなくタクシーを利用する...

A 財政状況が厳しいため、新たな財政措置があれば考える。

東久留米志木線に押しボタン式信号機と横断歩道の設置を...

放課後児童保育室の大規模化解消を...

Q 特に児童が多い、東北・野寺・片山放課後児童保育室について、...

A 厳しい財政状況で増設は難しい。引き続き余裕教室等の活用を...



大規模化の解消が望まれる東北放課後児童保育室

Q 都市計画道路東久留米志木線の石神地内の交差点は、横断歩道がなく大変危険である。

A 新座警察署が交通量調査と横断歩道の設置場所の確認を行う...



押しボタン式信号機と横断歩道の設置が望まれる石神地内の交差点



日本共産党 辻 実樹

障がい者の工賃向上に関する取組状況は...

Q 障がい者が地域で自立した暮らしを実現するために、...

A 本庁舎の正面玄関に一部の授産製品の展示と案内看板を設置したほか、...

Q 駅前整備に合わせ横断歩道が撤去されたが、大変不便が...

全ての対象者にひとり親世帯臨時特別給付金の支給を...

Q 全ての対象者に支援が届くよう周知を徹底してほしい。

A 市内の保育施設、幼稚園、学校等を通じて案内チラシを配布した。

Q 志木駅南口駅前の撤去された横断歩道の再設置を...

警察から撤去指示を受けたもので再設置はできない。



志木駅南口の横断歩道が撤去された場所

つ危険であり、複数の市民から元に戻してほしいと要望が寄せられている。

A 設計段階の警察協議において安全確保・渋滞解消の観点から撤去するよう指示を受けた。

協議の内容は志木駅南口周辺整備懇話会で周知を図り、個別の問合せにもその都度丁寧に対応した。

市長から報告を受けました 全員協議会から

8月27日 「いざほっとぎらぎら」の賃貸契約について

ほっとぎらぎらについては、平成14年2月1日から令和4年1月31日までの期間で東武鉄道株式会社と賃貸借契約を締結しているが、...

契約期間満了が近づいてきたため、ほっとぎらぎらの今後の在り方について、引き続き現施設を利用する...

のか、別の民間施設へ移転するのか、又は新たな複合施設を建設するのか、様々な検討を行ってきた。

ほっとぎらぎらは、高額な賃借料を含めた維持管理費等が課題となっている。そのため、維持管理費及び老朽化した各設備機器の更新費用と近隣民間施設の賃料、複合施設の建設費等を比較し、また、

各施設の利用状況も含めて検討したところ、長期的なマネジメントの観点から、東北コミュニティセンターと三軒屋公園の敷地を活用した新たな複合施設の建設が本市にとって有効であると考えた。

以上を踏まえ、契約更新は行わずに返却（解約）する方針で東武鉄道と協議を進めてきたが、市の財政状況は今後も更に厳しくなる...

の推進は一時中断し、財政状況好転後、改めて計画を進めていきたい。なお、複合施設が建設されるまでの間、業務を継続させる必要がある東北出張所については、東北コミュニティセンター1階のボランティアビューロー及びロビーの一部へ移転することとし、図書

室については、インターネット等で予約を受けた図書の貸出を東北コミュニティセンターで行う方向で検討している。

ほっとぎらぎら閉館に向け、東武鉄道と施設の現状回復工事内容を調整中であるが、現状回復のための撤去工事及び工事に伴う館内整理等の期間も考慮すると、令和2年度末をもって閉館せざるを得ないと考えている。

2 志木駅南口駐車場の供用開始について

志木駅南口の駅前広場内に設置する自動車駐車場については、道路法の規定により駐車料金を徴収する道路の附属物として整理し、駅前広場整備工事の完成時期に合わせ、新座市自動車駐車場条例として本定例会に提案した。

市政に問う! 一般質問

ダイジェスト



由臨会
米橋 結太

Q 都市高速鉄道12号線延伸について県の動きと本市の対応は有識者会議を設置した県に対して要望書を提出した

A 県では、公共交通の利便性向上検討会議を新たに設置し、課題の整理及び方向性の検討を行っている。把握している県の動きと本市の対応について伺う。

Q 県が有識者会議を設置したことを好機に、会議での検討において、先の答申で12号線の延伸が他路線と比べても整備効果の高い事業と評価されていることや、本市の活動状況、熱意等を踏まえ検討いただけるよう、期成同盟会として要望書を提出した。



由臨会
荒井 規行

Q 新型コロナウイルス感染症対策に苦慮する事業者のサポートを今後、他自治体の様々な取組について研究する

A 新型コロナウイルス感染症対策に苦慮する飲食店、理美容店等の事業者をサポートし、また市民が安心して店舗を利用できる環境を作るため、市独自の基準に基づいた「(仮称)新座市あんしん飲食店等認定制度」を創設してはどうか。

Q 県には、既に彩の国「新しい生活様式」安心宣言という制度があり、現時点では市独自に基準を設けて新たな認定制度を創設する考えはないが、今後、他自治体の様々な取組について研究する。

Q 市営墓園に設置する共同墓地整備計画の検討状況は

A 新型コロナウイルスの影響による事業見直しの中で改めて検討する

Q 共同墓地(合葬墓)の整備計画の検討状況について伺う。

A 当初は、令和2年度に設計委託、3年度に建設工事、4年度に供用開始を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により市全体の事務事業を見直すことになったため、設計委託の発注は見合わせている。今後、事業見直しの中で改めて整備計画について検討する。

Q 新型コロナウイルス感染者に係る情報提供の拡充をプッシュ式によるツイッター発信を開始した

A 新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、陽性確認者があった場合には、福祉施設及び小・中学校

Q 火災被害者に対する支援制度の概要を作成しては

A 火災現場で被災者等から聞き取りをする中で、支援が必要なのは支援制度のチラシを配布しているが、議員から提案があったので、支援制度の概要をホームページに掲載した。

Q シェアサイクルの導入を年内の導入を目指して準備を進めている

A 環境負荷軽減、放置自転車対策、コロナ禍の交通手段の分散化、健康促進と期待が高いシェア



シェアサイクルポート (写真は他市のもの)

Q 校に対して情報を提供する仕組みが必要と考えるがどうか。

A プッシュ式による情報提供となるツイッター発信を開始したので、各福祉施設に案内し、必要に応じてフォローいただくようお願いした。学校については、新型コロナウイルスと連絡フォーム等で情報が寄せられたら、具体的な対応を学校に指示している。



新型コロナウイルス感染者情報をツイッターで発信

Q アサイクル導入には、今が一番高い効果が期待できるときと考えるが、本市でも導入してはどうか。

A 昨年度から隣接自治体と同様の事業者と導入準備を進めており、事業者側の都合で整備を一時中断していたが、年内の導入を目指して7月末から再度調整を再開した。今後、11か所の公共施設に設置する予定である。

その際、駅前広場の供用開始は当初11月の想定であったが、早期に目途が立ったため、条例の施行日を9月1日としたり、他の議案に先んじての審議をお願いした。

3 (仮称)保健センター及び歴史民俗資料館複合施設基本設計業務委託の進捗状況について

複合施設については、現在基本設計業務を行っているが、その概要ができたので報告する。

場所は新座中学校の向かい側に位置し、新座消防署の北側に隣接する民有地で、面積は約1ヘクタールである。敷地の道路側に駐車場、奥側に建物を配置し、建物と消防署の間に雑木林と遊歩道を設置することで、緑のある空間となっている。

建物を平屋建てにすることでエレベーターや階段スペースを省略することができ、また、会議室、トイレ、保育室兼レイルーム及び体験学習スペースを保健センター及び歴史民俗資料館で共有することで、現行の延床面積よりも小さくすることができている。

各施設のレイアウトであるが、歴史民俗資料館については、体験学習スペースを隣接する雑木林へつながるように配置し、屋外空間を活用しやすいようにしている。また、展示室も約10㎡広げており、平林寺や野火止水用水に近くなることで今までも多くの来館者が見込まれるため、来館者の動線に配慮した展示室内のレイアウトを検討したい。保健センターについては、検診室や会議室を隣接させることで一体的な活用が可能となり、乳幼児健診やがん集団検診がスムーズに実施できるようにした。

今後は、本定例会で提案した補正予算に計上している実施設計業務委託費について認めていただけたら、速やかに実施設計を行い、来年9月からの工事着手、令和4年度中の完成を見込んでいる。



歴史民俗資料館と複合化して移転・整備される保健センター

◆9月25日
1 「こいざほっとぷらざ」の閉館に伴う代替機能及び今後のスケジュールについて

8月27日の全員協議会において、東北出張所及び予約図書の出機能の東北コミュニティセンターへの移転や、新たな複合施設の検討について示したが、①ギャラリーの代替施設、②複合施設の建設時期について指摘を頂いたため、改めて検討した結果を報告する。

①については、市役所第二庁舎1階の会議室を活用する方針で調整している。会議室壁面に有孔ボードを貼るとともにスポットライトを設置して、現在のギャラリーに近い状態で利用できるような改修を考えている。改修費用については、12月定例会における補正予算で示す予定である。

②については、市の財政状況は今後も更に厳しくなることから確定したスケジュールとして示せないが、仮に、令和3年10月から基本設計に着手できた場合、令和4年10月から実施設計を行い、令和

5年9月から工事に着手し、最短では令和7年度から利用いただけることとなる。市としても、複合施設は、ほっとぷらざに代わる志木駅周辺の新たな拠点として大変期待しているため、財政状況が好転次第、速やかに進めていきたい。

2 財政非常事態宣言について

新型コロナウイルスによる地方自治体への財政上の影響については、新聞報道等により徐々に明らかになってきている。

本市でも、現下の大変厳しい財政状況に加えて、新型コロナウイルスの影響による市税等の大幅な減収により、未だかつてない非常に厳しい財政状況となるのが想定される。財政調整基金が枯渇する中で、これまでにないような多額の収支不足が生じる状況は、正に財政の非常事態であると捉えている。このため、現在庁内では、

①本市独自事業全般の見直し(廃止や休止等)、②新座駅北口及び大和田一・三丁目土地区画整理事業の一時停止や先送り、③市民の安全確保等以外の工事の先送り、④各種補助金の削減、⑤公共施設の運営の在り方(開館日や開館時間等を含めて検討)、⑥人件費の削減、の6つの視点に基づいて事業の見直しの検討を進めている。

これらの事業の廃止や休止等に向けては、市民や各種団体の理解と協力が不可欠なので、全職員が現下の財政状況を十分に理解した上で丁寧な説明に努める。

現在、「財政非常事態宣言」の文案を作成しており、市ホームページ及び広報にいざ11月号に掲載し、広く周知する予定である。なお、具体的な事業の見直しの内容については、12月定例会及び3月定例会の議案等で示したい。

